

令和7年度 研究推進計画

I 教育目標

『自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断できる、心豊かな生徒の育成』

2 教師の資質能力の向上

(1) 学習指導・授業づくりの力

- ・校内研究授業（学習指導案作成の力を含む）
- ・相互授業参観（参観カード）
- ・日常的な授業公開（学び合い学習）
- ・教材の共有化（道徳・特別活動・教科等）

(2) 学級づくり力

- ・特別活動校内研修
- ・学級担任間の協働体制の確立と同僚性の向上
- ・学級生徒会を活用した学級の組織化
- ・学級集団理解のための集団形成テスト等の活用

(3) 生徒理解力と生徒指導力

- ・生徒理解を進めるためのノート（道徳・学習の記録等）の活用
- ・生徒との信頼関係を構築するための日常的な声掛け

3 教育目標達成に向けた実践の柱

(1) 学習活動の深化充実を図る。

- ・ASK（学び合い学習）の深化充実に向けての研究
- ・モジュール学習の現状評価と今後の取り組みについての研究
- ・おの検定を活用した家庭学習の習慣化
- ・言語能力とコミュニケーション力の育成
- ・ASKの活用
- ・読書活動の活性化
- ・文章を書く（作文・論述）機会の充実
- ・クロームブックの効果的な活用

(2) 振り返りの実践で自己観察力を育て自己理解を進める。

- ・全ての教育活動における振り返りの習慣化

(3) 美しい整理された環境をつくる。

- ・自分たちの学校を愛し、大切にする心

（愛着のある場所、みんなで使う場所だからこそ美しくする、大切にする）

(4) 部活動の充実を図る。

- ・対話を重視した部活動指導の徹底
- ・やる気と自信を引き出す部活動指導

(5) 小中一貫教育の更なる充実を図る。

- ・小中の教育目標の共有「を目指す生徒像の共有」
- ・教育課程の統一性と連続性の確保
- ・学習指導計画の小中間の共有